

## 2022 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 中町地区まちづくり協議会

代表者・役職名 氏名 会長 橋本 圭司

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

芸妓猫キャラのまちづくり

## 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

創設の経緯)中央線陸橋の架け替え工事が出た石畳を再利用して、中町花街のアスファルトの路地を石畳の洒落た路地にできないかという提案がありました。誰かがまとめ役とならなければ、住民の声を聞き、集約することはできません。地域住民のいろいろな声を聞き、思いを実現するために皆が考え、参加できるまちづくりを目指し、この団体を設立しようと考えました。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2010年から活動を継続し、ここ数年でハード面での形が現れてきています。産学官民一体のまちづくりが進行してきました。行政念願の地域休憩処「まちなか休憩処・八王子宿」が2020年に当地域に完成し、本年「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」として文化伝統施設がオープンいたしました。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

中町地区まちづくり協議会が地域内の賛同いただける店舗シャッターや塀、壁などに芸妓猫キャラのアートを実施します。若者が入って来れる街にするためにも、学生の若い意見を取り入れ、実地調査しながら進めていきます。八王子市の景観条例があることから、八王子市まちなみ景観課のアドバイスをいただきながら、目で楽しめるアートな街にしていきたいと考えています。実際には、八王子三業組合の敷地にある「にわか屋台」置場のシャッターを芸妓猫キャラにアートしていきます。八王子三業組合さんにはすでに了解いただいております。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

・学生の街に対する思いが拡がりました。当初は工学院大学野澤研究室の学生の意見からプロジェクトがスタートしましたが、進める中で桜美林大学尾川佳子ゼミの方々が参画するようになり、今期終盤には東京都立大川原研究室の方々が加わり、定例会では活発な意見交換がされるようになってきています。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

一カ所ではなく、数カ所アートを描いていきたいと考えております。次年度も継続していけるよう検討しております。  
また、花街にあった景観の整備も今後の課題として取り組んでいきたいと思っております。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。





2023年2月

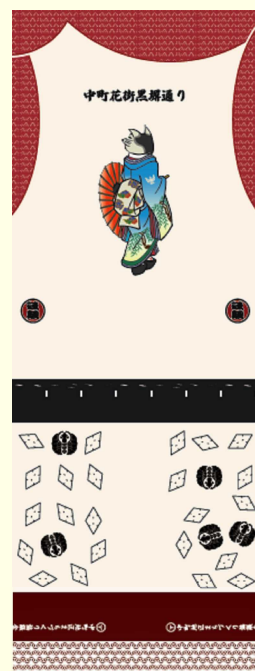
# 中町まちづくり通信 No.19

編集・発行/中町地区まちづくり協議会 事務局/八王子市中町9-11 仏壇の喜久屋内 TEL042-625-7798

## 【シャッターペイント】

工学院大学野澤研究室の皆さんがまち歩きを実施した時に、いろいろな気づきを得られたそうです。その中の一つが中町3区内で共生する猫です。そして当会の定例会で議論を重ねる中、花街散策マップ「粋な中町お散歩小路」で描いた鳥獣戯画の猫キャラクターにつながりました。そして、見番のわか屋台置場のシャッターに猫キャラクターを描けないかと芸妓さんよりお問い合わせをいただき検討を重ねる中で、予算のことがクリアできれば実現できるだろうということになりました。そして助成して下さる団体を探していたところ、八王子コミュニティ活動応援サイトより支援して下さりそうな団体を見出すことができ、申請をいたしました。「芸妓猫キャラのまちづくり」をテーマとして、真如苑の助成を受けて実施することができました。

検討重ねていく時には、道は自然とついてくるという、そのような思いです。



## 【Newオリジナル手ぬぐい第二作】

2016年に初めて、当会オリジナル手ぬぐいを作成しました。以来、八王子まつりにて中町町会の神酒所前で販売をしてきました。第一作目は、「芸者さんのうしろ姿」というテーマを八の字を描くようにイラストで表現をいたしました。

そして昨年、新たな手ぬぐいを作ろうと工学院の学生さんから声が起こり、企画をしてもらいました。花街散策MAPに使用している鳥獣戯画の猫を中央に配し、中町の祭半纏に使われている「中」と「蝶」そして「諫鼓」のマークも入っております。楽しいのは、手ぬぐいを折っていくとなんと半纏になります。学生さんの柔軟な発想で「半纏手ぬぐい」が仕上がりました。

残念ながら八王子まつりが中止となり、販売の期を逃してしまった感がありますが、中町のお土産グッズの一つとして販売をしてみたいです。試験的に仏壇の喜久屋で販売を開始いたします。1枚1,500円 店舗利益はなく、すべて当会の利益といたします。

どうぞよろしくお願いいたします。



折ると半纏になります



### 【花街散策マップ第3版増刷中】

2020年に作成しました花街散策マップ「粋な中町お散歩小路」7千部が大変好評で品切れしております。このマップを持ちながら、中町花街を散策される方々をよく見受けるというご意見を頂戴しております。私たちにとって、この上ないありがたいご意見です。MAP作成に至るまでは、街を実際に歩き、分析し、協議会で何度も議論を交わし、やっと印刷へ。そして、そこで終わりではなく、自分たちで丁寧に一部一部を折り、配布場所にお届けする。そのような行いがあるからこそ、MAPに愛着が加わるのではないのでしょうか。そして前回作成した後に「まち・なか」と「桑都テラス」がオープンしておりますので、修正を加えながら増刷いたしました。

今回のリニューアルに際しましては、八王子商工会議所様のご協賛をいただいて作成することができました。また前回同様に印刷後の折り作業を多くの皆様方にご協力をいただきたいと思いますと考えております。改めてお願いをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。



工学院大学野澤研究室の皆さん

### 【桑都テラス オープン】

伝統文化伝承・未来創造プロジェクトとして進められてきました施設が2022年11月26日にオープンいたしました。施設名称は、公募や、市民の皆さん、現地・中町への来訪者などの投票に基づき、最多得票を獲得した『桑都テラス』となったそうです。オープンから日は経過しましたが、にぎわい創出までは今一つのようなのです。これから、この施設を育てていくのは、地域の方々の智慧と愛情も必要だと思います。より良い意見を伝えていきましょう。

当会の前身である中町地域まちなみ準備委員会で作成した将来図がこの施設と重なってきます。私たちが提案してきたものとは言いませんが、思いは通じるものと感じます。



### 【定例会について】

定例会は毎月第三火曜日午後7時より開催しています。コロナ禍でオンライン会議(Zoom)を活用していますので、遠距離の学生さんも大勢参加して下さっています。学生さんも工学院大学野澤研究室に加え、桜美林大学尾川ゼミ、都立大学川原ゼミの方々が参画くださり、和が広がってきております。ゼミ毎の視点が異なりますので、ひとつにまとまると面白い方向性が見出せると感じます。どうぞ地域の方々も自由にご参加ください。参加ご希望の方へは事務局までご連絡ください。オンライン会議のURLをお伝えします。